

―― 本会および事務局への要望――

アンケートの結果より

先日往復ハガキにより会員の皆さまから本会および事務局への要望を募りましたところ、次のような御意見が集まりましたので、原文のまま掲載させていただきました。〔順不同〕

活動状況はこの「通信」によって会員に伝えられてきたのではあるが、更に進んで、会員の動静・各会員の学界における活動、あるいは学会への要望その他なんでも言いたいことが、長短を問わず、言えるような、つまり、いいかえれば、会員のみんなが自由に話しあう、意見の交換をしあうサロンの延長のようなものとなつたらどうだろうか、そんなことが案外学問の発達に貢献するのではないかどうか――とくにこの学会のように学問のいろいろの分野の人々が参加してみるとところでは尙更――などと、考えてみるのである。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
「研究通信」に望むこと
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

小池基之

村落社会研究会は、数多い学会のなかでも、いわばサロン的性格をもつた特異的な存在であると、私は思つてゐる。

特別の役員とくらうなものを設けることなしに、なんとなく会

が運営されて行くといふのも、その一つのあらわれであろうし、また「研究通信」といふよな連絡誌の配布も、この会を特色づけていることの一つであろう。そんな点からすれば、「研究通信」は、会員相互の連絡の場として、もつと積極的であつていいのではないかといふようにも思われる。学会としての村落社会研究会の普段の

これまでの年報をみましても、「共通論題」なし「シムボジウム」の内容について、その分析の視角ないし方法において、経済学的アプローチに対する社会学的アプローチの方が少しく不明確に思われます。たとえば現段階で「農民層分解」を提起されるのは時宜にかなつてゐると思ひますが、それはもともと経済学のカテゴリーであり、それにいかに社会学的に接続するのか、そのカテゴリーは如何などいつた検討が乏しいようです。〔立教大学経済学部・住谷一彦〕

―― 社会学以外の専門分野の方々の参加ができるだけ推進していくことの一つであろう。そんな点からすれば、「研究通信」は、現地調査の理論研究をたるべく相即させるよう七万円で大会を運営してもらいたい（実際はなかなか難しくことなりだが）。

どんな素朴な疑問でもどしどし話題に出せて、しかもそれをみんなして納得のいくまで討議できるような集まりとして、これからもつと、ぐんぐん成長していくことを心からねがっています。私自身の側に問題があるのかも知れませんが、まだ少し「こわい」ところがあるような気がします。〔東北福祉大学・小山陽一〕

多数の会員が、毎年何らかの形で村落調査を実施されることと思ひますが、若干でも共通の調査を行つて、研究会で全国的にまとめていくよなとを望みます。なるべく基礎的な問題を、わずかでも、調査項目としてとりあげて、会員個人としては、たとえ、片手間の仕事であつても、全体としてみれば、やり甲斐のある立派な仕事になると思います。

次に研究課題として、四～五年連続でとりくむのもほしく思ひます。〔京都大学 池田義祐〕

極東・東南アジア諸地域の、いわゆる *Archaeology* の構造とその変動についても、関心を示せんことを望みます。〔東京都立大学 村武精一〕

各研究者の研究動向とその成果の発表文献の紹介を出来るだけお願ひいたします。

〔常滑市立青海中学校 永田文夫〕

機会がありましたら小生のような変り種（村落の実証的研究からもたらされた社会理論を基盤として、国と国との関係を、電波の交流の実態研究から類推していく）にも発表の機会を与えて頂けま

会費徴収方法について、従来は大会出席者だけが会費を納入するようになつていますが、なるべく所属機関ごとに連絡員を依頼して、機関ごとにまとめて徴収して送付するという方法をとつたらいかがなものでしようか。滞納分を御通知下さればさかのぼつて徴収する事もできると思います。また「研究通信」も連絡員に一括して送り配布を依頼すると、郵送料が節約されると思ひます。

〔東京教育大学 柿崎京一〕

村研の会費納入および年報購入などのため振替口座を設けていただきたい。（例えは時潮社内に置ければそれでもよいし、事務局をそろそろ固定してもよのではなくか）

〔愛知学芸大学 高野史男〕

もう少し長くアンケートでも良いと思うのですが、会員間の研究近況やそこでの関心や問題点などを「研究通信」をとおして、相互に知りあうようにしていただけたら幸いです。また会員の最近における村落研究論文のリストなどくわしいものを作成していただけたら幸いです。

〔北海道大学 布施鉄治〕

しらうと考えております。

〔東洋大学 酒井俊二〕

「村落社会研究方法」を研究会の共通テーマの一つとするなどを
希望します。

〔農業総合研究所 川口一謙〕

会の専門性をどうかに固定することはできないでしょうか。

〔日本常民文化研究所 宮本常一〕